

人文学部「ヒト認知系の総合的研究」プロジェクト 公開講演会のお知らせ

日時：2011年7月25日（月）17：00～18：00

場所：総合教育研究棟 D301 室

講師：兼子 峰明 先生（京都大学霊長類研究所・日本学術振興会）

演題：チンパンジー研究から探る意識の起源

— 行為の主体感形成に関するヒトとチンパンジーの相似・相違点

京都大学霊長類研究所より、兼子峰明先生をお招きして上記のとおり講演会を開催致します。

兼子先生は、自己意識の一側面である「自己効力感」の生起過程について、比較認知科学的視点からチンパンジーやヒトを対象に数多くの実験的研究をされています。そうした一連の研究の成果は、英国王立協会紀要（Proceedings of the Royal Society B）へ掲載されるなど学界での高い評価を得るとともに、全国紙各紙の科学欄でも紹介されるなど大きな反響を呼んでいます。

当日は、先生ご自身の研究成果についてご紹介頂くのはもちろん、参加者の皆様との議論を通じて「意識の起源とは何か？」という問題に迫ってみたいと思います。

なお、事前の参加申し込みなどは不要です。また、教員のみならず、学生の皆様の参加も歓迎します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

お問い合わせ先：shirai@human.niigata-u.ac.jp（白井）